

明日も元気で来いよ!

100

「明日も元気で来いよ!」 通算100号

西天満小学校校長室だより「明日も元気で来いよ」は、平成24年4月9日

の第1号以来、今号で通算100号を迎えました。

第1号にはこんな記述があります。「・・・子どもたちのよいところを、どんどんみつけて、この西天満小学校をもっともっと好きになっていきたい・・・。」

この記述通り、通算100号まで、私は、子どもたちのがんばる姿や優しい行いをたくさんたくさんみつけて、皆様にお知らせしてきました。そして、子ども達だけでなく、地域や保護者の皆様の温かいご支援やご協力の様子も紹介してきました。そして、1号で書いた通り、私は、誰にも負けにくい西天満小学校の子どもたちを自慢に思い、この西天満小学校のことがどんどん好きになりました。

うれしい感想やご意見もたくさんの皆様からお寄せいただきました。そのことが、励みとなり、継続して発行することができました。

子ども達、そして、保護者、地域の皆様、さらには本校の教職員のおかげで、100号に到達できました。本当にありがとうございました。

大リーグイチロー選手が3000本安打を達成した折に「通過点」と表現しました。この言葉を引用するのもおこがましいとわかりつつ、100号を通過点として、今後も子ども達のがんばりやよいところをどんどん発信してまいります。どうぞ よろしく願いいたします。 **ありがとうございました**

教育(子育て)という営み

16号で、玄関掲示や神無月を取り上げ、「どんなことでもかまいません。このことが、日本の地理や和歌、そして、神話など、様々なことに興味をもつ契機となってくれたらいいと願っています」と書きました。

先日、1年生のHさんが「やまたのおろち」の絵本を校長室にもってきてくれました。お家の方が、「明日も元気で来いよ」を読んで、子どもに持たせてくださったのだと思います。Hさんの心の中には、1年生の時、校長先生に自分の絵本を見せたことが、ひとつの思い出として、そっとしまわれたことでしょう。

いつの日か、「やまたのおろち」のお話や他の神話に再会したとき、このことを思い出してくれるかもしれません。もしかしたら、神話に興味を持って、もっとたくさんの本を読みだすかもしれません。

1年生のNくんは、「たくましく・・・」にこんなエピソードを書いていました。

Nくんは、島根県の位置を地図で調べたそうです。地図で見ると近いとお母さんに聞くと、電車をたくさん乗り継いで行くくらい遠いと教えてもらったそうです。(Nくんの「たくましく・・・」の表紙には、私がプレゼントしたその月のカードがはってありました)

Hさんも、Nくんも、お家の方が、まさに、16号を契機としてくださっているのだと感じました。

いつか読んだ本にこんな一節があったのを思い出しました。



教育は、植物を育てることに似ている

いつ花が咲くかわからない

もしかしたら、咲かないかもしれない

それでも 子どもの心をたがやし、肥料をやり、種をまき、水をやる

気温、日当たり、風の強さ、いろんなことに気を配りながら

その種が芽を出し 葉をしげらせ、茎を伸ばし

いつか美しい花を咲かせ、実をつける

そのことを信じて 世話を続ける営み

それが教育だ

教育を子育てと読み替えてもよいでしょう。今回は、お家の方が種をまいてくださったのですね。これからも、家庭、学校が連携して、教育、子育ての営みを地道に続けていきたいと願っています。

- ◇ 昨日は、お忙しい中、学習参観・懇談会(6年生は修学旅行説明会)に、ご出席くださり、ありがとうございました。
- ◇ 子ども達が、素直に一生懸命がんばる姿をご覧いただけたことと思います。どうぞ、思い切りほめてあげてください。